

京町家は京都のまちの歴史・文化の象徴であり、歴史的景観の基盤を構成するとともに、洗練された都市居住文化を育み、現在も住まいや仕事場として広く利用される大切な財産であるが、

- その数は、減少傾向にあり、年間2%ずつ減少
- 市内に約48,000軒ある京町家の方、約5,000軒が空き家

取り壊される京町家



空き家化の進行

老朽化の進行

滅失

空き家化が進行している。

6%

平成10年度調査時

10%

平成20・21年度調査時

【京都市における京町家の空き家化率】  
(資料：平成20・21年度「京町家まちづくり調査」)

不十分な状態及び今すぐ修理が必要な状態のものが6割を超え、老朽化の傾向が顕著である。

全体

69%

25%

6%

空き家

38%

43%

19%

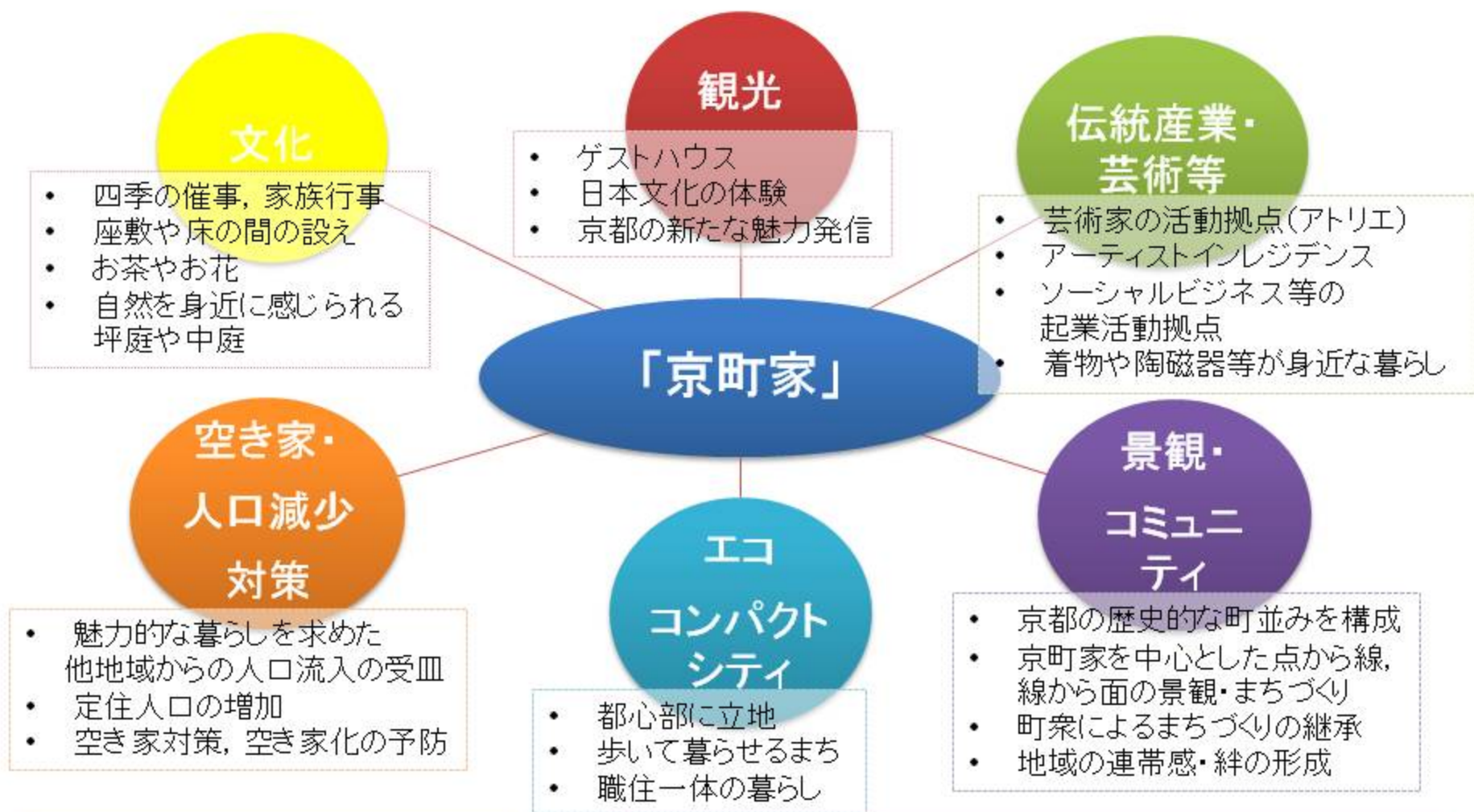
■ 良好  
■ 不十分  
■ 今すぐ修理が必要

【京都市における京町家の空き家の建物状態】  
(資料：平成20・21年度「京町家まちづくり調査」)

京町家の滅失が進行すると

京都にとってアイデンティティを脅かす重大な危機

# 「京町家」を中心とした各政策への広がり



京町家の保全・活用

京都の魅力・都市格の向上

京町家の滅失の進行

「京都らしさ」の喪失, 魅力・都市格の低下



# 京町家魅力発信コンテストの概要

## 募集開始

- 「京町家の魅力」を効果的に分かりやすく伝える短編映像(概ね3分以内)

7月10日

## 公開審査会・表彰式

- 市民も参加した公開審査会の場で優秀作品を選定, 表彰
- 最優秀作品には賞金50万円, 賞金総額100万円  
(最優秀賞 50万円, 優秀賞 20万円,  
特別賞 10万円×2点, 審査員賞 5万円×2点)

注目を  
集める

12月

## 活用

- 受賞作品を再編集し, 「京町家の魅力」を国内外に発信
- 情報発信ツール(スポットCM, 観光イベントでの放映ツール,  
教材等)として次年度以降も活用

魅力  
発信

1月以降

# 魅力発信の効果

## 映像による京町家の魅力発信

□ 現代における京町家の魅力をリアリティのある映像によって国内外に発信

→京町家所有者は、京町家の価値の再確認

（供給層へのアピール）

→京都市民等へ、京町家の暮らしの魅力を発信

（新たな需要層の掘り起こし）

→2020年東京オリンピック開催を見据え、外国人訪問客へ京町家の魅力を発信

（長期滞在を促進する絶好の機会）



京町家の保全・活用の機運を高める